


# 私の生き方歩み方

小池儀作

『ほっとする住み心地' まさかの備えに' 強い』我が町泊塚原(旧永)  
『どの子もうちの子』…私のボランティア活動の源はここに有り…ア、と言う所の25年間  
でした。味の素社宅跡山里地(南部丘陵公園)の『日永梅林の復活』『日永まちづくり』

『子供達のふる里倉り』等々に向け、手帳が真黒に老骨が折れて走り回っておりませう。

今頃はその中で「梅林復活」活動について記述に思います  
「日永梅林」の史は古く江戸時代(後期)に遡り特に大正から昭和10年代にかけては  
全体で「日本一の梅花」が咲き誇るこの地方有数の景勝地として名をはせた各所  
特に開花時には梅花と云い誘われ全国各地から内部の王子線(当時三連軌道)  
の臨時列車で押寄せた。園や道筋には茶屋や紅白の幕仕立ての棧敷がいくつも作  
られ、それは、にぎやかに盛り上げられた事

しかし戦火に巻き込まれ切樹とれ荒廃しその勇姿は消滅  
私達は、その復活再現を願ひ、この自然豊かな文化財である『日永梅林』を復活  
させ「登城山一帯」を自然あふれる里山遊歩道に再生し永続させる事を願ひ単に  
緑化推進にとどまらず、地域社会との連帯を図り、『住民参加型のまちづくり』を推進  
することをめざし平成11年3月に誕生させた。

現にこの活動の中心地は市南部丘陵公園北ソール(旧永朝日公園)。登城山一帯に置き  
役員40名、会員700名と共に「梅の植育樹管理」活動や、梅祭り、梅きり会、杖出し  
等々5周年の祭典を主催。TV、ラジオ、朝報等は市内外より多くの人々で笑顔満開!!  
我が味の素グループも、当梅林の会の企業会員として祭典時毎回30名位の「参画」を頂き  
中心的メンバーとして一諸にアヤも流しておりませう。梅に因縁の深い「令和時代」を迎え  
どの様に永続し更に拡大していくか、私のなやみです。 完